



↑異国情緒満点の1号店

Café らんぷ 洋燈



代表の三木さん

青空公園のそばにある「カフェ 洋燈(らんぷ)」が8月で2周年を迎えました。まるで異国のような内装やトルコランプ、そして2号店についても代表の三木さんにお話を伺ってきました。取材・編集/大下

【本店は海外気分〜♪】

青空公園のそばにあるのが「Café 洋燈」で本店になります。店内はトルコブルーとサーモンピンクが印象的で、店内には色とりどりのトルコランプ



↑時計もいい感じ♪

が飾られており、本当にキレイです。元々、純喫茶がしたかったオーナーの三木さん。開業がコロナが始まった頃で、海外に行けなくてもお店に来ていただいた方に海外旅行気分を味わってもらいたいと、内装を思いっきり明るくしたそうです！店内を一目見ただけで驚いてもらえるのが嬉しいそうです。

【オリジナルのトルコランプが作れる!?!】

お店の名前になった「洋燈」。ランプに興味を持ったのは関西で見たトルコランプがとても気に入ったから。そしてトルコランプのワークショップをしているトルコ人と知り合い、その生徒第1号に！

本店では毎週日曜と月曜の10時と14時にトルコランプを自分で作るワークショップを開催中。ランプ本体もビーズもトルコから輸入したガラス製です。電源はコンセントタイプと充電タイプがあり、こちらは日本製なので安心してください。金額はランプの大きさにより5,000円から。

トルコランプのワークショップは近県ではここだけ！しかもスイーツとドリンクが付きなのも魅力的です！トルコランプには6千年以上の歴史があり、魔除けや繁栄などのお守りになると言われているんです。

【ランチ始まるよ♪】

本店では8月8日のオープン2周年から串揚げ専門のランチを始めます。野菜、肉、魚介類など様々な素材を20〜23種類、揚げたてを1本ずつ提供する料亭スタイルです。10月からは夜も30〜35種類の串揚げをコース料理で予定しています！楽しみですね♪



↑1本ずつ丁寧に揚げます

【2号店は昭和レトロ〜♪】

銀座通りの純喫茶「ポパイ」の跡に出店したのが2号店の「レトロCafé 洋燈」。こちらは昭和レトロにタイムスリップしたかのような気分が味わえます。店内にはピンク色の「どこでもドア」まであります！若い世代には逆に新しいと感じるのではないのでしょうか？

人気なのはオムライス、ナポリタン、エモいランチ、ハンバーグランチなど。中でも『エモいランチ』は大人用にアレンジしたお子様ランチ。好きなものが全部乗ってる！という感じでお勧めです♪



↑かわいい“どこでもドア”が！

【かわいいクリームソーダ♪】

喫茶店の定番メニューのクリームソーダ。口の中に薔薇の香りが広がるローズ味や、クリスマスやバレンタインの季節限定など毎回違う味を楽しめます♪トッピングにランプの形をした手作りクッキーが乗るのもかわいいですね。



↑レトロな雰囲気ベストマッチ！
2号店もトルコランプが美味しい味出してます〜！

【毎日が感動♪】

お客様は出張中のサラリーマンの方から小さなお子様連れの方までいろいろ。『ありがたいことに長年ポパイの常連だったお客様が来て下さり、いろんなお話をされます。毎日、感動がいっぱいです！』と話されていました。

■DATA

☆本店 Café 洋燈
【住所】周南市飯島町 2-23
【TEL】070-8586-1188 (予約専用)
【営業】火曜〜土曜/11:00〜15:30
☆レトロCafé 洋燈
【住所】周南市銀座 2-2
【営業】11:00〜15:00

